

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いちばん星		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26家庭	(回答者数) 20家庭
○従業者評価実施期間	令和7年3月10日		令和7年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	常勤5名	(回答者数) 常勤5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の成長に寄り添った支援を行えること。 ・児童が「楽しかった、また行きたい」と感じてもらえる支援ができているところ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人の得意分野を把握し、伸ばしていく支援 ・個別の課題支援と集団での課題支援の提供のバランス 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな発見を関係機関と共有していく。 ・他事業所とも連携を取りながら児童の成長に必要な支援を考えていくこと。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の将来の姿を保護者と一緒に考えていくこと。 ・保護者と一緒に悩みながら児童の成長を見守り、大人になっても支援を続けていけること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の「今」だけではなく、「将来」を見据えて支援を考えていること。 ・保護者と一緒に「大人になった時の過ごし方」を視野に入れて支援に取り組めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携を取りながら、児童の将来に向けた支援の考え方の共通理解をしていくこと。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、相談支援センター、他事業所との情報共有 ・作品展や参観日などを設け、他機関に当事業所の支援について知ってもらう機会を設けていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関との連携の強化のための機会作り

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・制度等の説明不足(保護者に対して) 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は大きな報酬改定があり、保護者へは文書等で説明はしたつもりだが、不十分であったように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文書だけではなく、説明会を設ける等の配慮も考慮していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の放課後等デイサービス事業所とは連携や交流を持っているが、地域の小学校や中学校等との連携や交流は持っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の小学校や中学校、高校等と協働したレクリエーションの機会を設けていく構想の実現化
3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会、兄弟支援に関して 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や兄弟支援等のためのイベントを考える余裕がない。家族のためのイベントより、児童の日々の支援を充実させたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは児童のために地域との交流の機会を設けていくことを優先する。